

市町村子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた 利用ニーズ把握のための調査 ご協力をお願い

皆さまには日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度からスタートする予定です。

新しい制度では、各自治体が「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することになっており、計画を策定するにあたっては、子育てをなさっているご家庭の現状と希望するサービスの利用に関する意向を把握することとなっております。

今回の調査では、平成25年9月1日現在の住民基本台帳から就学前のお子さんを無作為に抽出し、保護者の皆さまにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や県や国の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

なお、調査票の発送、回収等業務につきましては、鎌倉市から株式会社コミュニティー・プランナーズに委託し実施しております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

鎌倉市長 松尾 崇

【ご記入にあたってのお願い】

調査票は、お子さんの保護者の方が記入してください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、

10月28日(月)までにご投函ください。

【ご記入いただきました情報等の取り扱いについて】

- 送付に使用したあて名ラベル及びご記入いただきました調査票は、鎌倉市及び株式会社コミュニティー・プランナーズが取り扱い、十分な情報管理体制のもとで、情報漏えいや紛失がないよう適切に取り扱います。
- ご回答につきましては、本調査の分析のために統計的に処理し、事業の目的以外に使用することはございません。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

鎌倉市こどもみらい部こどもみらい課 青木・熊木

電話：0467-61-3891 ファクス：0467-23-8700 (代表)

E-Mail：mirai@city.kamakura.kanagawa.jp

この調査は鎌倉市の今後の子育て支援施策を検討するに当たり
重要な調査となります。
ご回答をよろしくお願いいたします。

ご回答に当たってお読みください

鎌倉市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します（平成 27 年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を鎌倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここでご回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

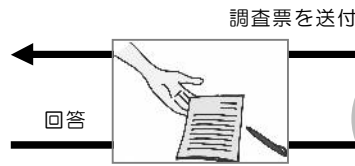
また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいたご回答は鎌倉市の子育て支援の充実に生かされます



子育て家庭



アンケート等により、子育て家庭の子育て支援の利用状況や利用希望を把握



鎌倉市



鎌倉市子ども・子育て会議等

調査等によって把握された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定



幼稚園、保育所、認定こども園



小規模保育、家庭的保育等

放課後児童クラブ、地域子育て・支援拠点事業、一時預かり、病児・病後児保育等

(仮称) 鎌倉市子ども・子育て支援事業計画
(5か年計画)

幼児期の学校教育(3-5歳児)・保育(0-5歳児)や地域の子育て支援について
 ・「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」
 ・「確保方策(確保の内容+実施時期)」を記載

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条 ※1)
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条 ※2)
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項 ※3)
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育(幼稚園・認定こども園)の意味で用いています

※1 学校教育法第22条…幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

※2 児童福祉法第39条…保育所は、日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児又は幼児を保育することを目的とする施設とする。

2 保育所は、前項の規定にかかわらず、特に必要があるときは、日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその他の児童を保育することができる。

※3 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項…この法律において「子育て支援事業」とは、地域の子どもの養育に関する各般の問題につき保護者からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言を行う事業、保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった地域の子どもに対する保育を行う事業、地域の子どもの養育に関する援助を受けることを希望する保護者と当該援助を行うことを希望する民間の団体若しくは個人との連絡及び調整を行う事業又は地域の子どもの養育に関する援助を行う民間の団体若しくは個人に対する必要な情報の提供及び助言を行う事業であって文部科学省令・厚生労働省令で定めるものをいう。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|----------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } ⇒ 問10へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他 (| |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|----------|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } ⇒ 問10へ |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他 (| |

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. いる/ある | ⇒ 問10-1へ |
| 2. いない/ない | ⇒ 5ページ 問11へ |

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(子育て支援センター、つどいの広場、子ども会館等)・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 (【例】ベビーシッター |) |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 （あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | <p>⇒ (1) -1 へ</p> <p>⇒ 6ページ 問14 へ</p> |
|--|---------------------------------------|

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

1 週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1 日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間	※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時間29分 ⇒ 7時間
--	---	--

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

家を出る時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時	※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時30分 ⇒ 8時
--	--	--------------------------------------

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 （あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | <p>⇒ 6ページ (2) -1 へ</p> <p>⇒ 6ページ 問14 へ</p> |
|--|--|

(2) -1 5 ページ 問12の(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：6時間30分 ⇒ 7時間
-------	------------------------	-------	--	--

(2) -2 5 ページ 問12の(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

家を出る時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：6時29分 ⇒ 6時
--------	---	------	---	--------------------------------------

問13 5 ページ 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 5 ページ 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字を記入[数字は一桁に一字])

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	<input type="checkbox"/> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) <input type="checkbox"/> イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
	→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	<input type="checkbox"/> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) <input type="checkbox"/> イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
	→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。

（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

1. 利用している 1 週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度
2. 利用していない

問 18 問 17 のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

1. 利用していないが、今後利用したい 1 週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1 週当たり 更に <input type="text"/> 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に <input type="text"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○）

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①両親学級 (こんにちは赤ちゃん教室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②育児教室(まんま♡る～ぷ、いい 歯にっこりスクール)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③乳幼児健康相談 (抱っこ de シャベル)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育センター相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥こどもと家庭の相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦市発行の子育て支援情報誌(かま くら子育てナビきらきら)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧かまくら子育てメディアスポッ ト	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨かまくら子育てメディアスポッ トホームページ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

12 ページ 問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字で記入 [数字は一枠に一字])
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の
受診が必要となります。

- | |
|---|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 ⇒ 問 22-3 へ |
| 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ |

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 他の施設 (例：幼稚園・保育所等) に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 () |

⇒ 14 ページ 問 23 へ

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお知らせく
ださい。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間
日数など) がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他 () | |

⇒ 14 ページ 問 23 へ

12 ページ 問 22-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数につい
ても数字で記入 [数字は一枠に一字])

- | |
|--|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 ⇒ 14 ページ 問 23 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ |

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由を
お知らせください (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |



宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や、 宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字で記入[数字は一桁に一字]

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：ショートステイ (児童養護施設等で一時的に子どもを養育・保護する事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他 ()	□ □ 日
7. 利用していない	

⇒ 問 24 へ

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ()	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。（あてはまる番号どちらか1つに○）利用したい方は、利用目的をお答えください。（あてはまる記号すべてに○をつけ、1年間の必要な日数を、目的それぞれにつき、口内に数字で記入[数字は一桁に一字]）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □ □ 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	□ □ 日
ウ. 不特定の就労	□ □ 日
エ. その他 ()	□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 15ページ 問25へ	

15 ページ
問 24-1 へ

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の 放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、17ページ 問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入。また、「子どもの家」（※1）を選択した場合には、利用を希望する時間も口内に数字で記入。時間は、必ず例）18時 のように24時間制で記入【数字は一枠に一字】）

※1 「子どもの家」…放課後児童クラブ（学童保育）のこと。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
4. 子ども会館 ※2	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
注：子ども会館に併設している子どもの家の利用を希望する場合は「6.」に回答			
5. 放課後子ども教室 ※3	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
6. 子どもの家（放課後児童クラブ（学童保育））	週	<input type="checkbox"/>	日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センターを利用	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい

※2 「子ども会館」…児童館類似施設。乳幼児（要付き添い）、小学生、中学生に遊びの場を提供するもの。開館時間：10時～17時（日曜、祝日、年末年始は休館）利用料無料。

※3 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校で遊びや学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。（現在は、稲村ヶ崎小学校のみで実施）

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入。また、「子どもの家」を選択した場合には利用を希望する時間も口内に数字で記入。時間は、必ず例）18時 のように24時間制で記入【数字は一枠に一字】）

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
4. 子ども会館	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
注：子ども会館に併設している子どもの家の利用を希望する場合は「6.」に回答			
5. 放課後子ども教室	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
6. 子どもの家（放課後児童クラブ（学童保育））	週	<input type="checkbox"/>	日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センターを利用	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（あてはまる番号1つに○）

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

17 ページ 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、21 ページ 問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（(1)(2)それぞれにつき、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

- | |
|----------------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問30-3へ |
| 2. 現在も育児休業中である ⇒ 20 ページ 問 30-9 へ |
| 3. 育児休業中に離職した ⇒ 21 ページ 問31へ |

(2) 父親

- | |
|----------------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問30-3へ |
| 2. 現在も育児休業中である ⇒ 20 ページ 問 30-9 へ |
| 3. 育児休業中に離職した ⇒ 21 ページ 問31へ |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（(1)(2)それぞれにつき、どちらか1つに○）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、希望どおりでなかった場合は、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。

((1)(2)それぞれにつき、□内に数字で記入[数字は一桁に一字])。

(1) 母親

実際 □ 歳 □ □ か月	希望 □ 歳 □ □ か月
------------------------	------------------------

(2) 父親

実際 □ 歳 □ □ か月	希望 □ 歳 □ □ か月
------------------------	------------------------

問 30-5 お勤め先の育児休業の制度が3年未満の方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（口内に数字で記入 数字は一枠に一字）

(1) 母親

<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

(2) 父親

<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月
----------------------	---	----------------------	----------------------	----

18 ページ 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（	）

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（	）

(2) 「希望」より遅く復帰した方（あてはまる番号すべてに○）

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（	）

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（	）

18 ページ 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

その他、子育てについてのお考え等に関するお答えください。

問31 お住まいの地域（冒頭お答えいただいた鎌倉、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域）における子育ての環境や支援への満足度についてお知らせください。（あてはまる番号1つに○）

満足度が低い	←————→	満足度が高い		
1	2	3	4	5

問32 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	
上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。	

問33 「子どもを産み育てること」を、今の社会は十分に評価していると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない	
上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。	

問34 あなたは、鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）が充実していると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない	
上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。また、特に「子育て相談支援」「保育園整備」「小児医療費助成」についてご意見がある場合は、具体的にご記入ください。	

問35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。